



令和4年12月23日発行
熊谷市立市田小学校

花と笑顔とあいさつ「ありがとう」いっぱいの学校

市田小HP <http://www.ichida.ed.jp/>

成長の過程と意味

お正月の風物詩、箱根駅伝の開催にあたり、次回大会出場大学の監督による、展望や意気込みなどを語るオンライントークバトルが12月10日（土）に行われました。

それぞれの監督が自校の順位予想やレース展開について語る中、司会から次の質問がありました。

司会：「監督冥利に尽きる瞬間を伺いたい」

青山学院大学原監督

「各選手が自己記録を更新した瞬間の笑顔があります」

今年本校は、持久走大会を持久走記録会へ変更しました。変更した理由はお知らせしたとおりですが、完走後の子どもたちの気持ちを少しお伝えします。

- ・ 「持久走が始まる前は勝負意識しかありませんでした。今は、持久走は友達との戦いではなく、辛い自分との戦いということがわかりました」
 - ・ 「タイムが上がっていくのがうれしかった」
 - ・ 「ベストが出てよかったです。順位がなくてペース走のほうがペースを意識して走れて良いです」
 - ・ 「自分の記録を抜かすことができてよかったです」
 - ・ 「1位、2位がないから友達とほめあったりできた」
 - ・ 「自分のベストが出る持久走でよかった」
 - ・ 「今年の方がラップタイムを意識して走れるのでいいと思った」
 - ・ 「最後まで走れてよかったです」
 - ・ 「みんなの走るフォームがとてもきれいで、ラストパートの追い上げがとてもすごかったです」
- ラップタイム表を見ると、



1周	2周	3周	4周	5周	6周	7周
59秒	59秒	57秒	57秒	55秒	54秒	9コーン

1周	2周	3周	4周	5周	6周	7周	8周	9周
44秒	47秒	47秒	47秒	47秒	44秒	44秒	44秒	2コーン

1周	2周	3周	4周	5周	6周	7周
53秒	52秒	56秒	57秒	56秒	59秒	9コーン

持久走は身体的負荷の大きい種目なので、「好きですか？」と問われれば、子ども大人にかかわらず「NO」と答える人が多いと思います。

今回、子どもたちの様子から、自分の目標を設定し、その目標を達成する方策を自分で考え実行し、その結果、自分の努力や成果を実感できることが成長に結びつくこと、自分と向き合えるということを改めて知ることができました。また、ラップを記録する友達からのペース指示や励ましの声かけから、応援され支えられる一粘る、そして目標に迫ることができたと考えます。「今の教育は競争がなくなり、困難に打ち勝つ子どもが育てられるのか」と耳にすることもあります。私は、競争は単純な個人の勝ち負けでなく、同じ目標を共有する仲間が互いに切磋琢磨し、結果、お互いを認め合え、お互いが成長すること、例えば、スポーツであればそのスポーツ全体の価値が上がること、と考えています。そして、原監督と同じことを思っています。

保護者、地域の皆様、令和4年におけるご協力・ご支援ありがとうございました。

そして、令和5年もよろしく願いいたします。

それでは、よいお年をお迎えください。

市田小音楽会 ～芸術の秋、音を楽しみました～

11月29日(火)に「市田小音楽会」を行いました。1年生「校歌(左上)」、2年生「山のポルカ(左中)」、3年生「パフ(左下)」、4年生「チャレンジ!(市内音楽会で演奏)」、5年生「夢の世界を(右上)」、6年生「風を切って(右下)」を演奏しました。今年も感染症予防のため、動画視聴での開催となりましたが、どの子どもがんばって練習し、演奏していました。2月に行われる授業参観日に映像を流しますので、保護者の皆様におかれましては、そちらでご鑑賞ください。

※4年生の演奏の写真は、前号掲載のため、今回は掲載していません。



持久走記録会 ～自分自身との闘い、自分自身の記録に挑戦～

12月1日(木)に持久走記録会を行いました。今年からは、記録会として自分自身の記録や伸びを図るペース走となりました。

一生懸命に走り切り、走り切った後は満足そうな顔をしていたのが印象的でした。

ご多用の中、温かなご声援ありがとうございました。



4年和太鼓体験、5年親善タグラグビー大会 ～様々な行事をとおして成長しています～

12月7日(水)に地元指導者による校内体験学習で、和太鼓体験を4年生が行いました。自分自身で和太鼓を叩けるということもあり、どの子ども楽しそうに演奏していました。とても貴重な経験ができました。

12月8日(木)は5年生親善タグラグビー大会が行われ、吉見小学校の5年生とタグラグビーをとおして、会話をするなど親睦を深め、とてもよい交流になりました。



裏面もあります